

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス みなたすアルファ		
○保護者評価実施期間	2025年 2月 1日 ～ 2025年 3月 10日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	9 (回答者数)	9
○従業者評価実施期間	2025年 2月 1日 ～ 2025年 2月28日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5 (回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 13日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けている事 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っている事。	支援記録に、支援計画を記載しており、スタッフ全員が、支援計画を常に把握している状態で支援を行うことが出来ている。 また、毎日の会議の中で、毎回目標を全員で確認して、担当だけでなく、チームワークをとり支援にあたる事ができている。	今後も、支援計画を全員が把握をすることができるように継続していく。 またその際、計画がすでに達成されていたりする場合など、計画の変更が必要であるなどの意見を会議で意見を言い合い、より良い支援に繋げていく。
2	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている事	毎月、火災時の避難訓練、不審者対策訓練、自然災害時の避難訓練などを行っている。その中で、6月には、 保護者に参加して頂き、引き渡し訓練を行う事で、非常時の対応について、保護者にも周知してもらっている。	今後も、訓練を行う事で、子どもたちの防災意識を高め また、非常時の事も知る事で、実際に被災した際の不安感を軽減する事ができるようにしていく
3	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っている事。	送迎の際、発達の状況をつたえたり、保護者の悩みを聞くことで、発達の状況、また、課題を把握し、共通理解を持つことができている。	保護者との連携を密にする事で、信頼関係を築き、悩んでいること等話をしやすいよう、関係を構築していく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	感染症などの拡大を懸念して避けている。	今後、長期休みの際の保育園、幼稚園との交流や、地域の子供を呼ぶ 様なイベントを企画するようにする。
2	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	企画から来ていない現状。	今後、外部評価を行うようにし、評価内容を業務改善に繋げて、よりよい支援を行って行くようにする。
3	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	研修には参加をしている。	今後、当事業所に、事例検討などで来ていただき、助言などして頂くようにする。